

## ◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 鴻巣こうのとりを育む会

22A-11

代表者：代表理事 伊藤 鑄義

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

コウノトリが産卵し雛が孵った場合は、野外への放鳥となる。コウノトリの餌となる生きものについては、観察会等をおして確認してきた。

しかし、生きもの重量については、統一された調査手法がなく未実施であった。このたび手法の統一が図られたので、その調査方法の取得及び生きもの量と餌量確保面積を把握する。



### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

専門家の指導を受けながら学生、一般市民と協働で田んぼへ引水後から4回（6月、8月、10月、1月）調査を行った。

時期については、他地域の調査結果と比較検証できることから決定した。各回とも10人前後の参加があった。内容は、一つの田んぼの畦・圃場で4点、田んぼ排水路4点について、田んぼ排水の共同水路2箇所での調査を行った。



### 3. 活動の成果

年4回の調査結果からは、現時点で田んぼ及び排水路で生活している生きもの種類、量を把握することができた。来年度以降の現地調査についても、段取りから集計方法まで取得する事ができたと思う。また、田んぼ耕作者と連携がより円滑に行える機会となった。

調査を継続していくことで、生きもの年別動向を把握することができる。

### 4. 今後に残された課題

作付けするイネの種類により田植え時期が異なることから、サンプル水田の選定を考える必要がある。多くの子ども・一般市民も調査に参加して頂くことに意義があるが調査日を限定されてしまう。調査固体の同定技術の研鑽等課題もありますが、自然環境を次世代に引き継ぐための一つの要素と考えている。